

資料4

文献レビュー研究 結果報告

(研究デザイン) 文献レビュー研究 (PRISMA Flow Diagram)

(検索エンジン)

医中誌、CiNii、Pubmed、CINAHL、CENTRAL

(Key words)

P(20)

医療保険 OR 介護保険 OR 通所リハ OR 訪問リハ OR 老人保健施設 OR 脳血管疾患 OR 心疾患 OR 関節疾患 OR 認知症 OR 骨折・転倒 OR COPD OR 誤嚥性肺炎 OR 廃用症候群 OR 生活期リハビリテーション OR 維持期リハビリテーション OR 疾患別リハビリテーション OR 回復期リハビリテーション OR 急性期リハビリテーション OR 失語症 OR 高次脳機能障害

I(23)

理学療法 OR 作業療法 OR 言語聴覚療法 OR 運動療法 OR 物理療法 OR 有酸素運動 OR 筋力トレーニング OR 歩行 OR 基本動作 OR 関節可動域訓練 OR 生活行為向上マネジメント OR ADL OR IADL OR 社会参加 OR 余暇活動 OR 趣味 OR 地域活動 OR 認知トレーニング OR 高次脳機能訓練 OR 就労支援 OR 福祉用具 OR 自助具 OR 言語訓練

O(34)

筋力 OR SPPB OR 握力 OR TUG OR 10m歩行速度 OR 6分間歩行距離 OR 関節可動域 OR 10回立ち上がりテスト OR 膝伸展筋力 OR MMSE OR HDS-R OR “Vitality Index” OR SDS OR HADS OR FAB OR DASC OR “Barthel Index” OR FIM OR “Lawton IADL” OR “Frenchay Activities Index” OR “WHODAS 2.0” OR 介護負担 OR 要介護度 OR Zarit介護負担尺度 OR QOL OR 医療費 OR 介護費 OR DBDスケール OR SLTA OR コース立方体 OR TMT OR RSST OR MWST OR 発話明瞭度

一次スクリーニング

(タイトルとアブストラクトによる選定)

包含基準

・介護保険領域にてリハビリテーションを実施している施設(老人保健施設、デイケア、通所リハビリテーション)において介護保険内でのリハビリテーションに関する評価項目がある

除外基準

- ・訪問看護、介護医療院、介護老人福祉施設のリハビリテーション(機能訓練)は除く(リハビリテーション特化型デイサービスも今回は除外)
- ・嚥下障害、嚥下訓練は除く

二次スクリーニング

(全文の評価による選定、選定基準は基本的に一次スクリーニングと同様)

除外基準

- ・介護保険ではない
- ・訪問看護、介護医療院などの対象外施設を含んでいる
- ・CQに適していない、評価項目の記載がない、もしくは結果が不十分
- ・ケースレポート、ケースシリーズである
- ・原著論文ではない(短報は包含)
- ・統計分析を実施した形跡がない
- ・重複論文である

PRISMA Flow Diagram

N=15,572
・医中誌 (n=8,944)
・CiNii (n=2,724)
・Pubmed (n=3,402)
・CINAHL (n=246)
・CENTRAL (n=286)

重複論文を除外 n=899

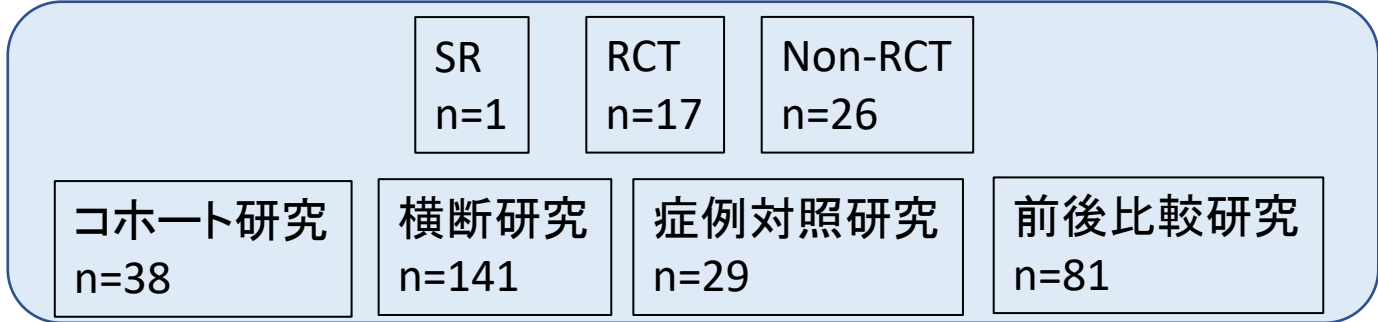
一次スクリーニング(タイトルとアブストラクトによる選出)
n=14,673

タイトルとアブストラクトから除外
n=13,699

二次スクリーニング(全文確認による選出)
n=981 (和文 833, 英文 148)

本文を確認し、除外された論文
n=648
・介護保険ではない(n=227)
・訪問看護、介護医療院などの対象外施設を含んでいる(n=124)
・CQに適していない、評価項目の記載がない、もしくは不十分(n=69)
・症例報告、症例集積研究(n=120)
・原著論文ではない(n=77)
・統計解析していない(n=27)
・重複論文(n=4)

選出された論文
n=333 (和文 292, 英文 41)



システマティックレビュー (SR): 1 論文

中前智通, 他

認知症者に対する訪問リハビリテーションの効果～最近10年の文献検討より～
神戸学院総合リハビリテーション研究. 2014; 9(2): 41-48.

[要約]

目的: **認知症者の認知機能障害及びBehavioral and Psychological Symptoms of Dementia (BPSD)に対する、訪問リハビリテーションの現状**の検討を目的に、過去10年の国内の文献の調査を行った。

結果: 対象者の認知機能障害またはBPSDに対する介入内容は、Instrumental Activity of Daily Living (IADL) やActivities of Daily Living (ADL)、余暇活動の指導、介護者への介助・援助方法などの指導、福祉用具調整やベッドタイプと設置場所変更などの環境調整、学習療法による介入がみられた。効果では、「物事への関心」の増加、「興奮や口論、徘徊、介護拒否、食事拒否、昼間の臥床時間」の減少など、BPSDの改善がみられた。

考察: Mini-Mental State Examination (MMSE) などの結果から認知機能改善の報告もあった。しかし今回は**渉獵**しえた文献の多くが事例報告であり、無作為化比較試験が1件、前後比較が1件であった。今後は、無作為化比較試験や症例対照研究など質の高い研究デザインによる複数の研究報告が待たれる

ランダム化比較試験 (RCT): 17論文

理学療法関連: 8論文

- 1) 高橋 亮人, 他.通所リハ利用者に対するエロンゲーショントレーニングの効果についてのパイロットスタディ 理学療法群との比較検討.理学療法科学. 2017; 32(5): 721-727.
- 2) 山田 実, 他. Dual-taskバランストレーニングには転倒予防効果があるのか? 地域在住高齢者における検討.理学療法ジャーナル; 42(5): 439-445.
- 3) 今岡 真和, 他.介護老人保健施設入所者の転倒予防介入効果検証 準ランダム化比較試験.日本転倒予防学会誌. 2015; 1(3); 29-36.
- 4) 島貫 健太, 他.慢性期片麻痺患者の体幹機能に対するパワーリハビリテーションの効果.北海道理学療法. 2007; 24: 90-94.
- 5) 安田 直史, 他.要介護高齢者の足把持力の向上を目指したフットケアの効果 ランダム化比較試験による検討.ヘルスプロモーション理学療法研究. 2014; 4(2): 55-63.
- 6) 杉浦 令人, 他.要支援・軽度要介護高齢者に対する集団リズム運動が心身機能にもたらす効果.理学療法科学. 2010; 25(2): 257-264.
- 7) Yamada M, et al. Effects of a DVD-based seated dual-task stepping exercise on the fall risk factors among community-dwelling elderly adults. Telemed J E Health. 2011; 17(10): 768-772.
- 8) Yamada M, et al. Multitarget stepping program in combination with a standardized multicomponent exercise program can prevent falls in community-dwelling older adults: a randomized, controlled trial. J Am Geriatr Soc.2013; 61(10): 1669-1675.

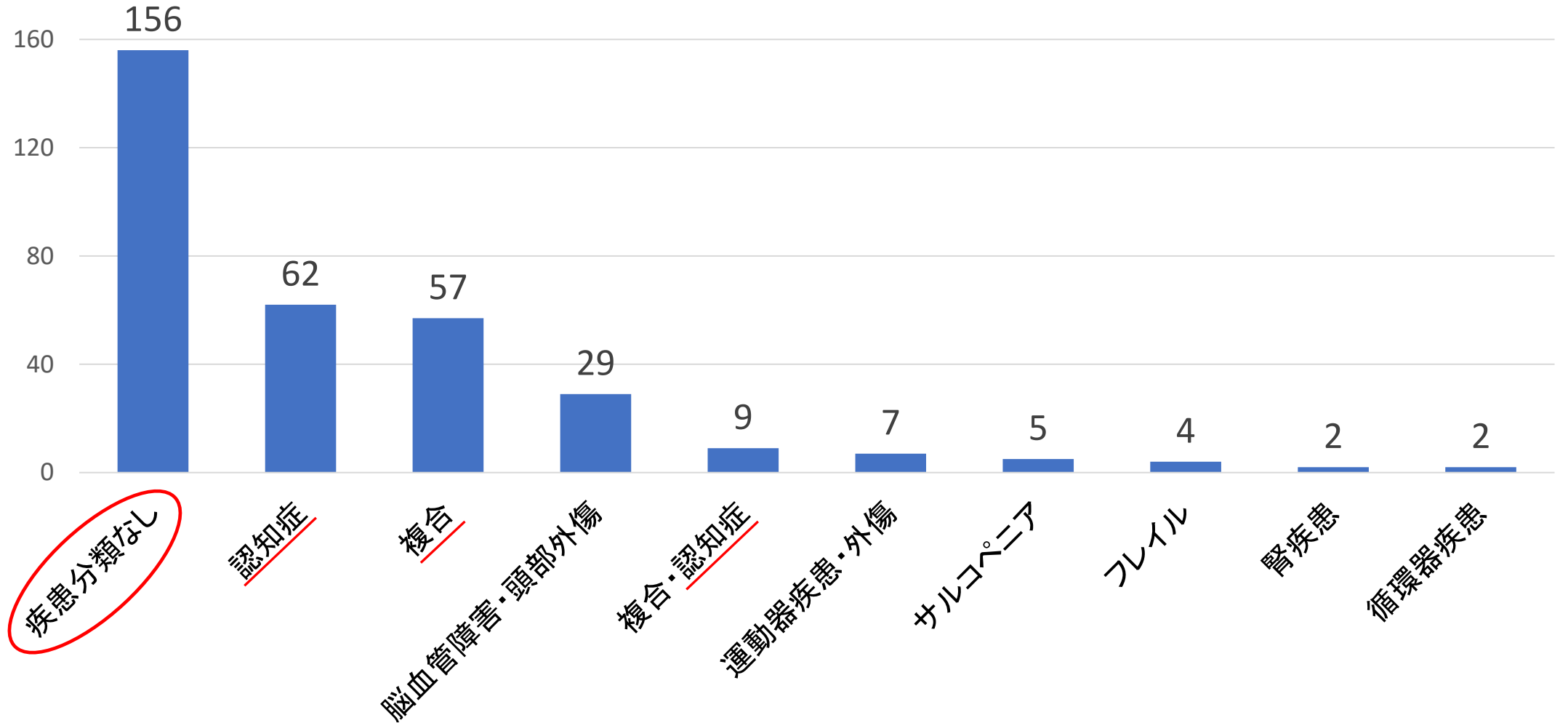
作業療法関連: 4論文

- 9) 篠原 和也, 他.人間作業モデルとその他の理論を用いた群間の効果研究の内容 脳血管障害維持期の利用者に対するランダム化臨床試験.作業行動研究. 2012; 16(1): 33-46.
- 10) 能登 真一, 他.地域在住の要介護高齢者に対する「生活行為向上マネジメント」を用いた作業療法の効果 多施設共同ランダム化比較試験.作業療法. 2014; 33(3): 259-269.
- 11) 石代 敏拓, 他.通所リハビリテーションにおけるOSAIIを用いた作業療法プログラムの効果.作業療法. 2017; 36(4): 405-415.
- 12) 大森 大輔, 他.通所リハビリテーション利用者の作業療法における生活行為申し送り表の効果 ランダム化比較試験による検討.作業療法; 2018: 37(2): 188-196.

認知症関連: 5論文

- 13) 石川 裕子, 他. 認知症高齢者に対するダンスセラピーの効果検討. 日本認知症予防学会誌. 2015; 3(1): 2-1
- 14) 本田 景子, 他.高齢者における音読と歌唱の効果 認知機能面に着目して ランダム化比較試験.作業療法. 2018; 37(6): 608-615.
- 15) 坂本 将徳, 他.集団レクリエーション介入が認知症高齢者における行動・心理症状(BPSD)およびQOLに及ぼす効果.理学療法科学. 2017; 32(4): 487-491.
- 16) Tatsuhiko M, et al. Effects of a Cooking Program Based on Brain-activating Rehabilitation for Elderly Residents with Dementia in a Roken Facility: A Randomized Controlled Trial. Progress in Rehabilitation Medicine. 2017; 2: 1-9.
- 17) Tanaka S, et al. Comparison between group and personal rehabilitation for dementia in a geriatric health service facility: single-blinded randomized controlled study. Psychogeriatrics.

疾患別



評価項目 (まとめ)

順位	評価項目	使用論文数
1	TUG	95
2	GS	86
3	MMSE	75
4	BI	71
5	FIM	65
6	OOLS	60
7	HDSR	52
8	FR	48
9	10m歩行	47
10	膝伸展筋力	40
11	5m歩行	34
12	大腿四頭筋筋力	30
13	BMI	26
14	歩行速度	20
15	CS30	20
16	転倒歴	18
17	LSA	18
18	長座体前屈	17
19	Brs	15
20	BBS	14

順位	評価項目	使用論文数
21	GDS	13
22	老研式活動能力指標	13
23	疼痛	13
24	FAI	12
25	NADL	11
26	TMTA	11
27	SF36	11
28	ZBI	11
29	PGC	10
30	DBD	10
31	SF8	10
32	ADL	9
33	認知症高齢者の日常生活自立度	9
34	重心動揺	8
35	SMI	8
36	障害老人の日常生活自立度	7
37	FES	7
38	BP	7
39	歩行様式	7
40	CDR	7
41	GDS15	6
42	6MWT	6
43	IADL	6
44	足背屈筋力	6
45	入所期間	6
46	FAB	6
47	QOLD	5
48	棒落下テスト	5
49	MNA	5
50	体脂肪率	5
51	WHOQOL26	5
52	10mgait自由歩行	5
53	主観的健康感	5
54	OSA II	5
55	NPI	5